

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2023年2月期の結果（2023年4月発表分）

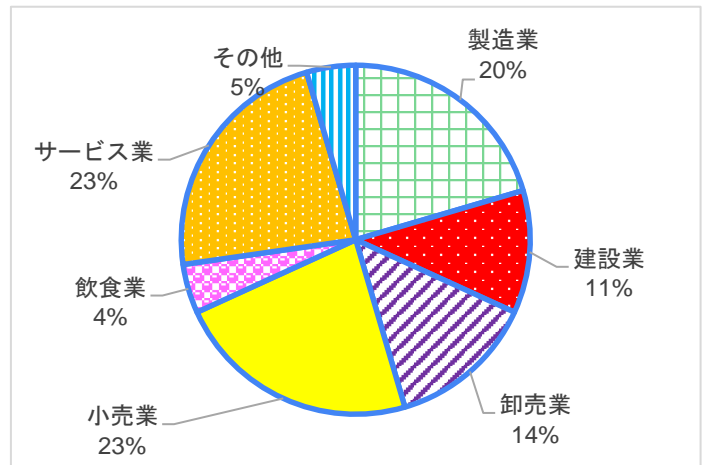
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2022年度景気ウォッチャー調査員（67名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は44名（回答率は65.7%）

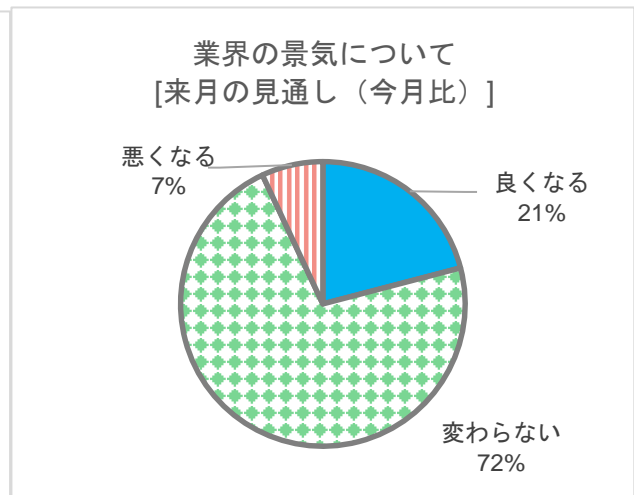
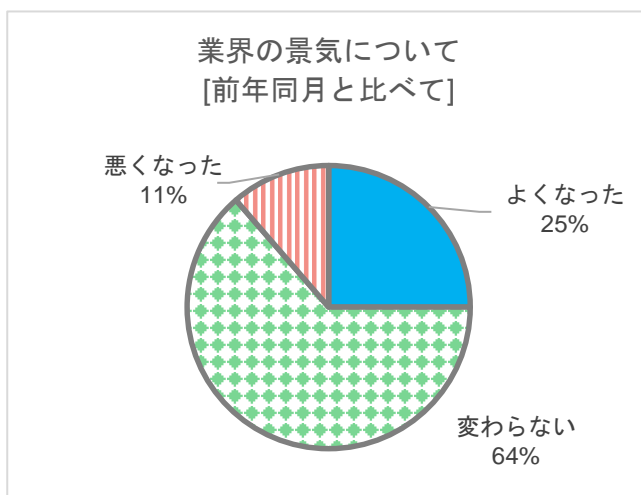
業種	回答者数	構成比
製造業	9	20.5%
建設業	5	11.9%
卸売業	6	14.3%
小売業	10	23.8%
飲食業	2	4.8%
サービス業	10	23.8%
その他	2	4.8%
計	44	104%



調査結果のポイント

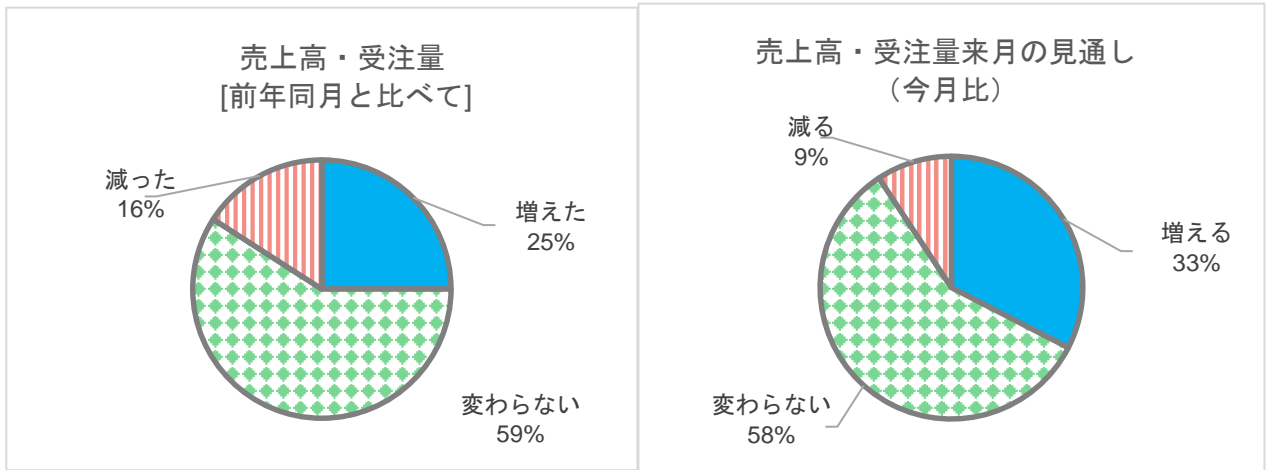
<景況>

- ・2023年2月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が25.0%、「変わらない」が63.6%、「悪くなった」が11.4%となりました。
- ・2023年3月以降の見通しについて、2月と比較して、「よくなる」が20.9%、「変わらない」が72.1%、「悪くなる」が7.0%となりました。



<売上高・受注>

- ・2023年2月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」25.0%、「変わらない」が59.1%、「減った」が15.9%となりました。
- ・2023年3月以降の見通しについて、2月と比較して、「増える」が32.6%、「変わらない」が58.1%、「減る」が9.3%となりました。



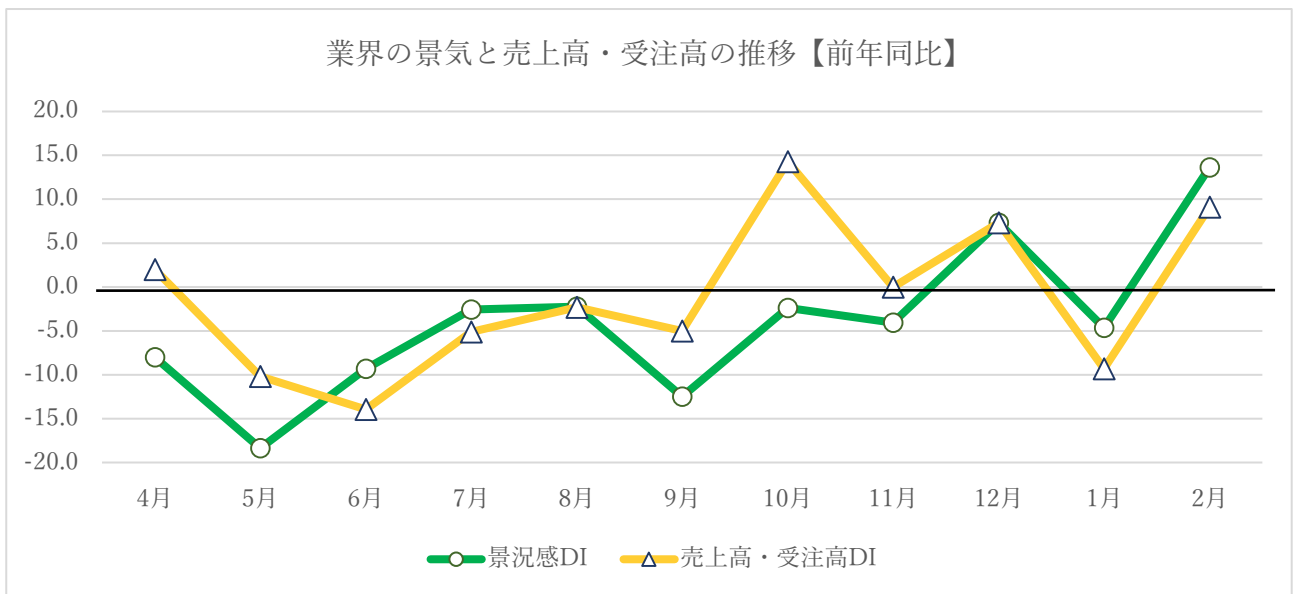
【景気動向 DI (毎月版)】 **New!**

<概要>

景気ウォッチャー調査員67名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

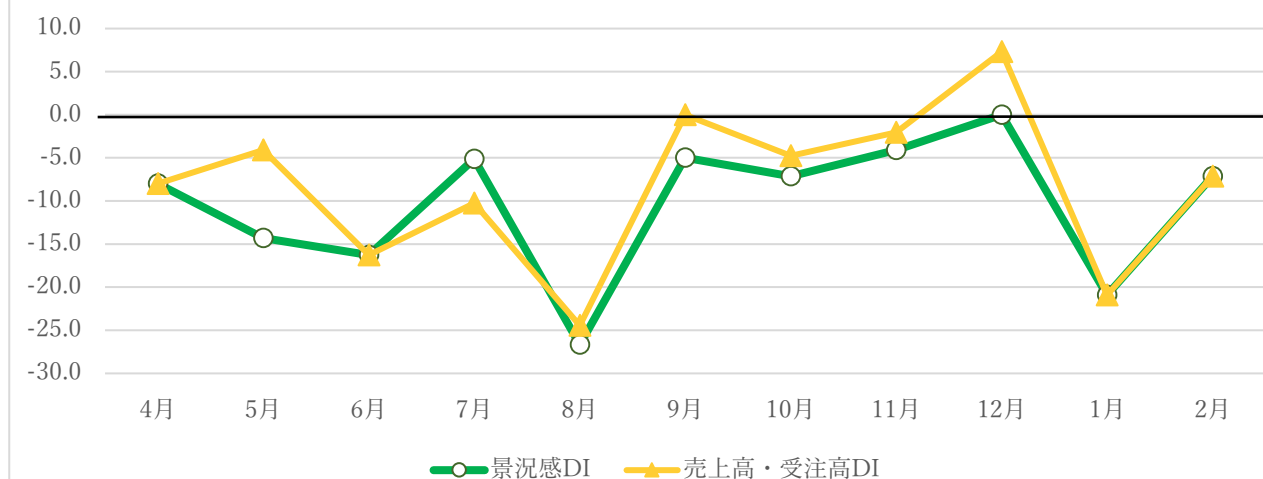
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。



業界の景気について [前年同月と比べて]											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
景況感DI	-8.0	-18.4	-9.3	-2.6	-2.2	-12.5	-2.4	-4.1	7.3	-4.7	13.6
売上高・受注量 [前年同月と比べて]											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
売上高・受注高DI	2.0	-10.2	-14.0	-5.1	-2.3	-5.0	14.3	0.0	7.3	-9.3	9.1

2022年4月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。前年同月比で1月から2月にかけて、大幅にポイントアップしました。

業界の景気と売上高・受注高の推移【来月の見通し】



業界の景気について[来月の見通し (今月比)]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
景況感DI	-8.0	-14.3	-16.3	-5.1	-26.7	-5.0	-7.1	-4.1	0.0	-20.9	-7.1

売上高・受注量 来月の見通し (今月比)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
売上高・受注高DI	-8.0	-4.1	-16.3	-10.3	-24.4	0.0	-4.8	-2.0	7.3	-20.9	-7.1

2022年4月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。1月から2月にかけてポイントアップしましたが、依然として低水準での推移が続いています。

【調査対象者のコメント】

業界区分	業界動向や地域に関する困りごと
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの落ち着きもあって売上は緩やかに上昇傾向、5類移行もあって今後が楽しみ。 <楽器(製)> ・顧客の高齢化により、今まで出来ていたことが難しくなり、受発注や支払のトラブルが出てきている。 <電気配線工事業> ・小売店での販売は芳しくない。 <木製品(製)> ・決算時期に合わせて、今は忙しい。マスク解除と共に行動が増えてほしい。 <木製家具(製)> ・原材料費の値上げも高止まりしてきたが、外注部品等々の価格も相当に高くなってきている。総じて原価が高くなり、かといって受注価格はそれと比例はしていないので知恵の勝負になってると感じる。発注先の変更も検討し始めている。 <物流運搬設備(製)> ・受注は増加傾向になってきた。しかし、人手不足でハローワークやその他で募集しても採用できない。賃金アップと親会社からも言われており悩ましい。 <事業協同組合(鉄)> ・浜松祭りがコロナ前のような形で開催されないようなので盛り上がりにかけている。賃金を上げるという話があるが、浜松の大手に人をとられ、中小零細企業には若い子が来てくれない。働き手がいなくなり、会社の存続が危うい。 <注染ゆかた(加)>
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・県西部では住宅の受注状況が少なくなっているという話がある。 <建築設計業>

卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・水産物原料の高騰している。また空き店舗が増加している。 <乾物(卸)> ・業界はコロナも収束する方向で考えているので、今春からは通常の活動を行う予定。 <ピアノ・オルガン部品(製・卸)> ・鋳造副資材の価格高騰の影響で受注が減少している。また鋳造副資材は輸入品が多く、円高になれば価格は抑えられる。 <鋳材(卸)> ・商品の値上はまだまだ続きそう。見積り作成だけでも仕事がパンクしそうだが、付加価値を高められる提案をしていかなければ、と奮闘している。 <菓子材料(卸)>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・我々の業界も、全て値上げの対象になるので、売価に上乘せするが、やはり日常の食事と違い、嗜好品の為、消費者の買い控えが心配。 <菓子小売業(製・小)> ・車の販売は例年2~3月がピークになるが、2月後半から受注が落ち始めている。新車不足で免許を取ってから車を探してるお客様は間に合わない状況で、4月から出勤で使いたい新社会人のお客様にとって切実な問題である。 <自動車(小・修)> ・暖くなると身の回りの整備がしたくなるのか、多少個人の注文が増える。 <鉄材料(販)> ・茶業では、こだわりの高級品は対価に見合わなくても、農家と製茶屋の意地とプライド品が少しあった。しかし背に腹はかえられぬようで、今年から意地とプライドは捨てる方も増えてきた。 <茶(加・小)> ・各社売価の値上がり、掛け率も悪くなり厳しい状況が続いている。週末の夜の賑わいは戻ってきていると感じる。歓送迎会シーズンで感染拡大がなければ良いが。 <玩具(販)> ・電気代などの高騰が商店の経営を圧迫している。 <事業協同組合(青果)> ・新型コロナの感染は縮小し、行動制限もなくなった状況ではあったが、燃料油販売は前年より減少。値段の高止まりと、あらゆる商品が値上げされ、消費が冷えている。燃料も満タンではなく金額や数量指定の入れ方が多くなっている。 <事業協同組合(石油)>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染も落ち着いてきたことにより、教育のニーズが高まっている。 <経営コンサルタント> ・雇用の受け皿である建設・建築・土木業とそれに係る警備業への就労選択が著しく低下してきた。その観点から、景気が少しずつ回復してきたと考える。 <警備業> ・訪問介護事業所において、求人募集をしても応募者がいない。 <社会保険労務士> ・所有者土地不明問題に関連する法改正があった。 <司法書士> ・賃上げ問題について。物価上昇に伴い、賃上げも必要だと思うが、実態として中小製造業にはなかなか難しい。そもそも利益が圧迫されているから価格転嫁が難しい。 <事業協同組合(機械)> ・行政手続きのオンライン化が少しずつ増えてきている。利用者の負担軽減になれば良いと思う。 <行政書士>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・助成金のおかげで利益が出た事業主がいるが、なぜ利益が出たのか理解できていない人がいるという現状がある。 <税理士> ・我々イベント業界は、屋外開催の案件が増えている。また来期の案件相談もあり、前年の同月よりも前向きに業務に取り組んでいる。 <ディスプレイ業> ・当店のお客様が、振り込み詐欺に合った。幸いにも、未遂に終わり、犯人は逮捕された。犯人は、事前に調べて電話を掛けてきたが、電話には迷惑電話防止の機能がついていなかった。家電業界は積極的に啓蒙活動を行い、振り込み詐欺への対策を行う必要がある。買替キャンペーンを提案したい。 <家庭電化製品(販)>

■新型コロナウイルス感染症の影響	
・物価高騰は相変わらず続いているが、コロナ感染が減少し、世の中も通常に戻りつつあるので良い傾向である。	<ディスプレイ業>
■物価高騰・円安の影響	
・コロナウイルスは落ち着いてきたと思うが、物価の高騰は落ち着く気配もない。仕入れが大変。	<楽器(製)>
・原材料の高騰により価格転嫁が難しい。	<電気配線工事業>
・ドル円相場が安定してきているので、輸入材の価格も安定してきた。	<木製品(製)>
・原油・資材だけでなく、電気代・一般消耗品も値上対策に苦慮している。	<事業協同組合(鉄)>
・物価高騰や円安にて資材の値上がりはまだ続くようだが、高いお金を払っても商品や材料が無いという事が起きている。また、インボイスにより内職さんが加工しているものは仕事を出している会社に確実に負担が増えるので困っている。	<注染ゆかた(加)>
・円安と物流費が仕入れ単価に影響する状況が続いている。	<ピアノ・オルガン部品(製・卸)>
・コロナウイルスの影響は薄らいできているが、物価高騰の影響で仕入資材や運賃等、軒並み値上げになっている。その分を商品に転嫁できていないので今後の状況が読めない。またこれからギフトの時期になるが、景気が悪くなると贅沢品よりも現実的な日常品を送る傾向があるため(既に昨年末にその傾向が現れていた。)、弊社の扱う果物やその加工品の需要が減るのではないかと心配している。	<農産物(卸・加工)>
・物価高騰の影響がかなりある。まだまだ高騰が止まらず、先が見えないため、どうしても現在の売価に上乘せざるを得ない。売価が上がるので、消費者の買い控えが心配。	<菓子小売業(製・小)>
・商品の値上げをしたが、私たちが思っていたほどお客様のご注文が減ることがなく、ご理解をいただける雰囲気だった。	<茶(加・小)>
・コロナの影響は感じにくくなってきた。物価高騰の影響が深刻で当分先が見えない。	<玩具(販)>
・電気代等の経費の高騰に苦しんでいる。	<司法書士>
・建設費の高騰により、住宅ローンの負担が増大している。	<行政書士>
・最低賃金も上がり、物価も上がる中、支出ばかりが膨らむ状況で、中小企業にとってかなり苦しい状況が続いている。	<ディスプレイ業>
■インボイス制度への対応	
・インボイスがわからないまま登録している会社があり、どうなるのか不安。	<木製家具(製)>
・インボイス制度の適格請求書について、システム業者さんと打合せしているが、未だ不明点も多く、対応に苦慮しています。	<機器工具(卸)>
・インボイス制度で、1人親方の対応を検討している。	<家庭電化製品(販)>
■その他	
・鳥インフルエンザによる卵不足でお得意様がお菓子を作れない事態となっている。殻付きの卵はまだ流通しているが、業務用の冷凍卵や液卵は半減している。状況改善までには最低半年かかると言われているので、しばらく厳しい状況が続くと思われる。	<菓子材料(卸)>
・浜松シティマラソンの開催、浜松まつりの開催を予定など、イベント・事業が回復してきたことにより、それに伴う警備業も回復してきた。	<警備業>
・4月から雇用保険と介護保険の料率が上がり、月60時間を超える残業割増率は50%にしなければならない。中小企業は益々厳しくなるだろう。	<社会保険労務士>
・電気代や物価が値上がりする中、賃上げ要請もあり苦慮している。	<事業協同組合(ものづくり)>